

学校教育目標	であい ふれあい ひびきあい ○基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び続けようとする子を育てます。(知) ○人権教育を推進し、みんなが安心して豊かに生活をしようとする子を育てます。(徳) ○自らの健康や安全に関心をもち、健やかでたくましい体をつくろうとする子を育てます。(体) ○家庭・地域・学校が連携を深め、地域・社会に積極的にかかわろうとする子を育てます。(公) ○様々な人とのふれあいを通して、自らの考えや視野を広げようとする子を育てます。(開)			
	創立 44 周年 児童生徒数: 474 人	学校長 福田 美穂 主な関係校: 南希望が丘中学校	副校長 吉田 直好	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	南希中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈言語能力〉 〈自分づくりに関する力〉	南希望が丘中学校 希望ヶ丘小学校	自分をとりまく人々と積極的にかかわりをもち、その中で自ら成長する子ども ・9年間のつながりを基盤に児童生徒が意欲をもち、相互に学び合う授業づくりを進める。 ・相互理解を深めるため、小中合同授業研究を実施する。(年2回) ・子ども像を共有しながら児童生徒指導や学習指導等の情報交換を行い、共通理解を深める。

中期取組目標 ○一人ひとりの思いを大切に、多くの人とのかかわりや体験的活動を通じた主体的な学びの充実を図ります。 ・一人ひとりが自分の思いを表現できる授業づくりを推進します。 ・地域や家庭、関係諸機関と連携し、いろいろな人とのかかわりから、自他のよさをとらえる力を育みます。 ・学習経験や体験活動を活かし、自ら課題解決する力を育てます。 ○自らの健康や安全に関心をもち、健やかでたくましい心と体づくりの充実を図ります。 ・仲間づくりを通して、互いのよさを認め合い、楽しい学校生活が送れるようにします。 ・体力アップ活動を通して、自分の体力を向上させようという意欲を高めます。

重点取組分野	具体的取組
知 主体的な学び 担当 学力向上委員会	①教育課程全体で育成をめざす資質・能力を明確にした授業づくりをする。学習計画を明確にし、児童が主体的に学習を進めることができるようにする。②重点研究テーマを「主体的に問題解決に取り組み、分かる喜びを得られる子の育成」とし、算数科を中心に、児童の主体的な学びを追究する。
徳 道徳教育 担当 豊かな心委員会	①道徳の授業を要として学校の教育活動全体を通して行う道徳教育を推進し、豊かな心を育てる。②年間を通してスマイル班活動の充実を図り、人とのかかわりの中で自他のよさに気づき互いに認め合い、思いやる心を育てる。
体 健康教育 担当 体力向上委員会	①家庭と連携して、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、保健教育を行う。 ②学校保健委員会での発表や話し合いを通して、生活習慣を見直そうという気持ちを高める。 ③カード等を活用して体力アップ遊びや長縄大会などに主体的に参加し、体力向上を図る。
公開 自分づくり教育 担当 異学年交流委員会	①さまざまな行事・学習で体験活動を重視し、主体的に活動し、自分に自信がもてるような機会として設定する。 ②まちの先生や地域での体験的な学びを通して、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①全職員で児童理解の情報共有を行い、いじめについて認知し子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②いじめの早期発見・早期対応を心掛け、月1回以上の防止対策委員会を行う。③報告、連絡、相談を欠かさず、チームで対応を行う。④研修等を通して全職員がいじめに対するアンテナを高くし、年3回の児童へのアンケート等により変化を見逃さないようにする。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務・メンターチーム	①5年次以下の教員を対象に「スマイル塾」を組織し、ミドルリーダーが中心になって自主的な研修を行う。②校内重点研究会・区市研究会に積極的に参加し、授業力向上に努める。③研究・研修部、指導部で全職員が役割を担い、学校運営に携わる。④会議の精選、ICTを活用した事務処理・情報共有等で組織的な働き方改革につなげる。
地域学校協働活動 担当 教務部	①委員による授業参観・行事参観を通して本校教育活動の実態把握と理解を深める。②学校協働運営協議会での協議を通して、地域のサポートを生かした授業、保護者ボランティアによる豊かな体験活動や環境づくりの充実を図る。③地域の方による安全ボランティアと職員、PTAとの話し合いをもとに登下校の見守り活動の充実を図る。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①一人ひとりのニーズに沿った個別の教育支援計画や指導計画を作成・活用する。②関係機関と連携をとり、一人ひとりにあった支援が行えるようにする。③特別支援に関する研修・ケース会議・コンサルテーションを行い、子どもたちが安心して生活できる支援についての理解を深める。
児童生徒指導 担当 児童指導委員会	①「善部小ルールブック」をもとに、よりよい生活習慣・学習態度を身に付けさせるよう、全職員で一貫して指導する。②職員会議で「子どもの話」を全職員で共有し、チームで支援を行う。③YPアセスメントを活用し、子どもの声をしっかりと受け止めて、家庭と連携して解決するように努める。
担当	